

竹内病院 だより

7月号

医療法人
社団仁和会

 竹内病院

宮崎市霧島2丁目260
TEL(0985)26-0123 FAX(0985)26-8791

ドクター

Dr.に聞く!【第94回】

「健診・検診について」

消化器外科医師 豊永 健二

今年は雨が多いですね。その上、雨の合間には気温が急に上がり今度は真夏のような天候不順では体調を崩す方が多くなります、特に高齢者は注意が必要です。急な気候、温度の変化で熱中症も増える時期になりました。皆様もこまめに水分を摂って、部屋の換気を行う等の熱中症予防を行い、体調管理を行いましょう。

毎年6月から各自自治体が行う健診・がん検診が始まっています。宮崎市の一般健診や各種がん検診も始まり、既に受けられた方も多いと思います。職場での健診も始まり、再検査が必要な方も多く来院されています。

今回は「どのような健診を受けたほうが良いか、がん検診は何をするの?」との質問を頂いたので簡単に説明したいと思います。

まず、基本的な検査(健診)とは

年に1回は血液(貧血・肝機能・腎機能・血糖・脂質)・尿検査、胸のレントゲン検査(肺がん検診と同様です)、腹部の超音波検査(エコー検査)をお勧めします。

治療中の病気がある方では、数ヶ月毎にそれぞれ検査が必要となりますし、上記以外にも詳しい検査が必要となるでしょう。

次に各種がん検診です。

胃がん・・・対象は40歳以上の人。①バリウムを飲む**胃透視検査**と②血液検査でピロリ菌感染と慢性胃炎の状態をみる**リスク検査**があります。どちらかを選択し、要精査となれば胃カメラ検査が必要です。

大腸がん・・・対象は40歳以上の人。便の中に血が混ざっているかどうかを検査する**便潜血検査**。要精査となれば大腸カメラ検査を行います。

前立腺がん・・・対象は40歳以上の男性。血液検査で腫瘍マーカーである**PSA**を測定します。要精査では指定された泌尿器科に紹介します。

乳がん・・・対象は30歳以上の人。**超音波検査**か**レントゲン撮影するマンモグラフィ検査**で行います。一次検査で異常があった場合は指定された医療機関にて精査を行います。

子宮頸がん・・・指定医療機関での**内診**と綿棒で子宮頸部の細胞をこすりとりて検査する**細胞診**で行われます。月経が終わってすぐの検診が良いそうです。

肺がん・・・対象は40歳以上の人。市保健所と検診車にて**レントゲン検査**を行います。要精査ではCT検査等が必要です。

今年は各節目年齢の方には宮崎市から大腸がん/乳がん/子宮頸がん検診の**無料クーポン券**も配布されているようです。ご確認してご利用下さい。

健診・がん検診は現在自覚症状がない方に適しています。逆に自覚症状がある方では、医師の診察を受け必要な検査を受けることになります。

これまで受けたことのない方は、自分は大丈夫だと過信せず、一度健診・検診を受けられることをお勧めします。当院では胃がん・大腸がん・前立腺がん・乳がんの検診を行っております。

「検査室だより」

臨床検査技師 岩切 ひとみ

早いもので今年も半年が過ぎました。暑い夏もう目の前ですね。

この季節、検査室では検査機器の温度管理に神経を使っています。室温が高いと、突然データの値が高くなったり、測定できなくなったり…。検査機器が動かなくなることもあるので、夜は窓を開けたり、クーラーをつけたりしています。

日中も検査機器を動かすときに発生する機械熱も考慮し対応しています。そのため、採血などで検査室に入られた時に「寒い!」と感じられることがあるかもしれませんが、その時は遠慮なく仰ってください。

「七夕」

介護職員 鈴木 真弓

夜空に輝く星々を見ていると私たちの魂の輝きのようで、心も浄化されていくような気がします。

一年で最も夜空を見上げるとき、それは七夕の夜ではないでしょうか。必要以上にお天気の心配もしてしまいます。それは年に一度の逢瀬を願う気持ちと同時に天の川に自身の、または家族・友人たちの幸福を願いたい、とそんなきもちもあるのかもしれません。

竹内病院の各フロアーでも思いを込めて今年も七夕飾りを用意いたしました。願いを込めた短冊は笹の中でそれぞれの幸せをのせているかのように揺らめいています。



病棟の七夕飾り

「入職しました」

管理栄養士 請関 美和子

6月22日より栄養課に管理栄養士として入職しました請関と申します。

患者様に最後の一口までおいしく食べて頂ける食事作り、そして心ある栄養サポートに努めてまいります。よろしく願いいたします。

「新入職員 マナー研修」

3階病棟看護師 川野 智保子

今回講師を務めてくださった米岡先生は私の通っていた学校でも何度か講義をしてくださっており、そのとき学んだ聴くスキルや話すスキルは実習する中でとても役立ち、就職してからもこのスキルには助けられているのでこれからもどんどん磨いていきたいと思っています。

挨拶をすることや身だしなみを整えること、また丁寧な言葉遣いを心掛けることなどはもちろんですが、それに加えて気配りや心配りを忘れず、その時々その方々に応じた対応を判断していくことが大切だと改めて感じました。また、好感を持たれる存在になるということはよい人間関係を構築する第一歩ともなるため、笑顔で接したり相手の立場になり物事を考えコミュニケーションを図ったりすることが重要だと感じました。患者様と接する中で、その言葉だけに重きを置くのではなく、表情や態度等の非言語的な部分もきちんと観察し、いつもと違う「何か」を感じ取り対応していくためにも、思いを言葉で聞き、目で表情を読み取り補完すること、そして伝え方を組み立てて対応を考えていく力を育てていかなければならないと感じました。

米岡先生の講義で学んだことを生かしながら仕事に励み、患者様とよりよい関係を築き看護していき、またスタッフ間でも良い人間関係を作っていけるよう意識しながら取り組んでいきたいと思ひます。

医療高等課程 津隈 亮孝

米岡光子先生の講話を聞いて、看護師に必要な患者様とのコミュニケーションが大事だと感じた。授業でも接遇を習っているが、元々接遇というものは人とコミュニケーションをとるにあたって仕事場で必要な能力である。看護師は、患者様やその御家族の方々に好感を持たれる・きちんと挨拶ができる、そんな看護師になりたいと考える。

米岡先生の講話では、何気ないしぐさや行動が仕事や相手に与えられる影響が変わってくることを知った。挨拶の仕方でも、ただするだけではなく看護師というプロ意識、責任を持った行動をとることが大事だと考えさせられる講話だった。日ごろからの行動をよく考えて業務や生活をしていくことが大切だと感じた。

接遇研修会では、医療現場での聞く力・話す力のスキルアップの原点として、挨拶がもたらす効果を学ぶことができました。「どのように挨拶をすれば相手の心に届くのか？」その意識が仕事に向かう姿勢を変えるそうです。

最初は、患者様とのコミュニケーションについての研修会だと思っていました。しかし、ポイントとなるのは患者様だけでなく様々なシーンで出会う相手に対して、思いやりの気持ちを表情や言動に表現し、伝えることができるスキルこそ接遇のスキルなのだと学びました。

職場での私は自信がない時に言動や行動が曖昧になる癖があります。今回での研修ではその時にペアになった方のおかげで気付くことができ良かったです。今後はそれらを意識しながら接遇スキルを磨けるように努めたいです。

看護助手 山田 亜由美

医療現場では、すべては患者様側からどうか？ということでした。感じの良い対応や配慮などが基本にあり、そこからコミュニケーションに繋がっていくと話されていました。

研修の中で<話をする側><話を聞く側>に分かれて話している相手を観察するというものがありました。これを現場に置き換えると相手は患者様になるのですが、感じの良し悪しや”相手の様子を観る”ことは意識しても、”相手から様子を観られる”ことを意識的に考えたことは無かったと気づきました。話す側からすると「ちゃんと聞いてもらえる。」という安心感が大切であり、それが信頼にもつながるということを学びました。医療現場では、様々な年代や状態の患者様がいて、コミュニケーションはその患者様によって変える必要もありますが、信頼につながるような安心感を患者様に持ってもらえる様な話の聴き方や態度がとれているかを意識し、気を付けていこうと思いました。

普段あまり意識しない事を改めて学んでみると、人間関係の構築にはいろいろな段階があり、そこに個人の思考や感情・癖が絡むことによって、難しくなるのだと考えさせられました。また、“接遇にはマニュアルは無く、その時々・その方々に応じた対応を判断しなければならない”とありました。まずは患者様に対して失礼の無いように、そしてスムーズなコミュニケーションをとっていきけるように日々努力していきたいと思います。

事務課 夏田 真希

先日、米岡光子さんを講師とするマナー研修会に参加させていただきました。医療の現場では欠かせない接遇マナーを題材とする講話で、患者様に好感を持たれるために必要な対応や聴く力について学びました。人間関係づくりの基本は“心の距離”という事で、相手の共通点を探ることが大切だということを知りました。そして、同じ研修会に参加していた他の医療機関の方々とグループになって共通点を探す練習をしました。皆、初対面でしたが共通点を探して会話をしていくたびに、心の距離は近くなっていく感じがしました。このことは私だけではなく患者様にも同じことが言えると思います。来院された患者様と会話のやり取りをする際に、共通点を見つけて会話の中に入れていくことで、患者様との距離が近くなり好感を持たれやすくなると感じました。このように共通点を見つけようとする事で、相手(患者様)を観察するようになり、相手の感情や場の空気を読み取れるようになるということを身をもって体感することができました。私自身、患者様と直接お話することはほとんどありませんが、いつ患者様と接しても大丈夫なように日頃から患者様やスタッフの方々を観察して、相手の感情や場の空気を読み取れるよう意識していきたいと思います。

もう一つ大切なことは、効果的なコミュニケーションには“きく力”が絶対に欠かせないことでした。その中で最も重要だったのは、聴き手は「話し手が伝えたいことは何か」を整理し、正確に聴き取って訊き出すことで話し手に話す意欲がわくということでした。「うなずき」・「相づち」・「繰り返し」・「オノマトペ」を効果的に使うことで相手の心を開くことができること、聴き手の態度次第で話し手の気持ちも変わるということを改めて学ぶことができ日頃から意識して実践していかなければならないと感じました。

今回のマナー研修会を通して、相手(患者様)との心の距離の取り方や話の聞き方を学んで、相手の思いを言葉で聞き目で表情を読み取ることを意識して話をしたり聞いたりすること、伝え方を組み立てたり対応を考えることを日頃から意識して行動に移していきたいと思います。

「新入職員歓迎会を行いました」

職員互助会会長 川崎 浩二

先月6月18日に、竹内病院とむつみ苑との合同で新入職員歓迎会が行われました。第一部のボウリング大会は宮崎エースレーンを会場に25レーンを使い、職員だけでなくその子供たちの参加もあり、一人2ゲームを行いました。競技の後、個人賞や各レーンをチームとする団体賞の表彰があり、皆さんいい汗をかかれたのではないのでしょうか。

第二部はアレッタで食事会でした。体を動かした後の食事もおいしかったです、日頃ゆっくり話す時間の少ない他部門の人たちとの会話ができ、親睦を深められたのではないかと思います。新入職員の方々にも良い励ましになったように感じた歓迎会でした。



宮崎エースランドにて集合写真

お知らせ

お盆の期間中も通常通り診療を行います。

関連施設

介護老人保健施設

むつみ苑

【施設定員/入所:80名 通所:20名】

施設長 面高 美津子

宮崎市池内町伊勢領1344番地

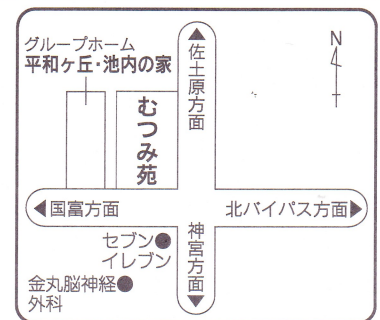
TEL(0985)39-9200 FAX(0985)39-9506

グループホーム 平和ヶ丘
TEL(0985)30-2855

グループホーム 池内の家
TEL(0985)39-6623

大宮在宅介護支援センター
TEL(0985)36-3170

宮崎市大宮地区地域包括支援センター
TEL(0985)61-1789



呼吸器外科・呼吸器内科・消化器外科・外科
内科・肛門外科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科

保険医療機関
医療法人社団 仁和会



竹内病院

理事長 竹内 茂

〒880-0032 宮崎市霧島2丁目260番地

TEL(0985)26-0123 FAX(0985)26-8791 URL: <http://www.zinwakai-takeuchi.com/>

診療時間

- 平日/午前8時30分～正午
午後1時30分～午後6時
- 土曜日/午前8時30分～正午
- ※急患は随時受付いたします※
- 休診日/日曜・祝祭日
- 健康診断、随時受け付けております。

